

「 岐阜県発日本一、世界一 ～ 5 月 ～ 」

スポーツ健康課 スポーツ振興担当

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
2007全日本ジュニア競歩 女子3000m競歩	第1位	H19.5.3	中原 舞 (大垣東中)		中学生と高校1年生が参加するこの競技種目で、中原選手は2位に50秒以上の大差をつけ、14分51秒99の記録で優勝し、2位には同じ大垣市の竹内選手が入賞した。男子3000mで田中選手が3位、同5000mで林善仁選手(大垣工高)が4位、女子5000mには宇佐見紗也加選手(県岐阜商高)が5位入賞と、県勢の健闘が目立った。 (石川県金沢市：西部緑地公園陸上競技場)
	第2位		竹内 利歩 (大垣西中)		
	男子3000m競歩		第3位		
第24回ユニバーシアード フェンシング日本代表最終選考会 女子サーブル	第1位	H19.5.3	青柳 裕子 (朝日大)		日本代表として世界ジュニア選手権に連続出場している実力者の青柳選手は、予選リーグを勝ち抜き、8人による決勝リーグに進出する。立ち上がり2連敗を喫し、持ち前の集中力で残り5試合を連勝して、見事優勝を飾り、ユニバーシアードの切符を手にした。 (東京都台東区：台東リバーサイドスポーツセンター)
2007年アジアパワーリフティング選手権大会 女子90kg超級	第2位	H19.5.6	加藤みどり (きくいけ整形外科)		加藤選手は、スクワット180kg、ベンチプレス87.5kg、デッドリフト177.5kgを記録し、スクワットとデッドリフトの2種目で日本新記録を樹立し、トータル445kgで第2位に輝いた。また、デッドリフトは種目別の優勝となった。 (台湾、高雄市：Chung-chen Auditorium)
第44回世界アウトドアターゲット アーチェリー選手権大会最終選考会 コンパウンド男子	第3位	H19.5.12	山田 彰 (トーカー)		予選で2位につけ、世界選手権大会への出場の特権を得る1位を狙う山田選手であったが、決勝では記録が伸びず、合計1323点の3位となった。 (静岡県掛川市：つま恋多目的広場)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第76回全日本アマチュア自転車競技選手権大会トラック・レース 男子4km個人追抜競走	第2位	H19.5.27	川西 貴之 (日本大)	岐南工卒	全日本大学対抗選手権などの成績上位者のみが参加できる大会。予選を順調に勝ち抜いた川西選手は、決勝で同じ大学の小豆畑選手との対戦となったが、1秒647の差で惜しくも2位となった。(新潟県弥彦村：弥彦競輪場)
男子4km団体追抜競走	第2位	H19.5.27	岐阜 井関太一 朝日大 横関裕樹 朝日大 岸本直樹 順天堂大 高橋翔太 岐南工高	岐南工高卒 (井関・横関・岸本)	岐阜県選抜は、8チームの予選を突破し、日本大学のベストメンバーの学連チームとの決勝となった。高校生でメンバーに入った高橋選手も健闘したが、惜しくも1秒794差で破れた。(新潟県弥彦村：弥彦競輪場)
2007年JOCジュニアオリンピックカップ自転車競技大会 男子スクラッチ(8km)	第3位	H19.5.27	森 啓 (岐阜第一高)		3月に行われた選抜大会で3位に入賞し、優勝候補の一角として期待された森選手であったが、若松孝之(三重県：朝明高)、小巻和仁(埼玉県：川越工高)に及ばず3位となった。(新潟県弥彦村：弥彦競輪場)